



令和 7 年度

学校要覧

つくば開成福岡高等学校 校歌

不器用な その手から
生まれてくる 小さき想い
指先に添えられた 名の知らない花
この先にうつむくことも
痛く傷つくことも
あるけど 乗り越えられる
キミを 愛しく 思うから
どんなに 小さくても
強く あたたかいものは

Have I ever seen the beautiful Earth?

We were born on the star

Which continued shining.

どんなに はかなくとも

強く 大切なモノは

Have I ever seen the beautiful Earth?

この世には 溢れてる

学校法人つくば開成学園

つくば開成福岡高等学校

〒810-0001

福岡市中央区天神5丁目3番1号

電話番号 092-761-1663

ファックス 092-761-1667

<http://www.tkf.ed.jp>

沿革の概要

平成27年度	04.01 学校法人 つくば開成学園 つくば開成福岡高等学校として開校 04.09 第一回入学式挙行 03.02 第一回卒業証書授与式挙行 51名卒業
平成28年度	08.21 同窓会発足第一回総会 03.02 第二回卒業証書授与式 57名卒業
平成29年度	04.01 つくば開成福岡高等学校生徒会 発足 07.08 後援会発足第1回総会 03.02 第三回卒業証書授与式 53名卒業
平成30年度	03.02 第四回卒業証書授与式 107名卒業
令和元年度	05.01 平成～令和に改元 03.02 第五回卒業証書授与式 77名卒業
令和2年度	04.08 第六回入学式は新型コロナウイルス感染防止のため式典中止 04.06～05.17 新型コロナウイルス感染予防のため臨時休校 03.02 第六回卒業証書授与式 114名卒業 03.11～12新型コロナウイルス感染拡大により研修旅行を沖縄県から鹿児島県に変更
令和3年度	03.02 第七回卒業証書授与式 105名卒業 03.15～16新型コロナウイルス感染拡大により研修旅行を沖縄県から鹿児島県に変更
令和4年度	03.02 第八回卒業証書授与式 97名卒業
令和5年度	03.02 第九回卒業証書授与式 84名卒業
令和6年度	06.21 10周年記念行事体育祭開催 09.14・15 10周年記念行事文化祭開催 10.05 10周年記念式典 03.02 第十回卒業証書授与式 107名卒業

教育理念

私たちは生徒一人ひとりに自己の可能性を発見させ、各々が光り輝き社会に貢献できる元気な若者を育てることを目指す。そのためには生徒一人ひとりが自立した個性豊かな生き方ができるように、各々に目標を明確化させ、その実現に向かって愛情と厳しさを持った指導体制を確立するとともに、教育の理想を追求していく学校を目指す。

校訓

自針 熱中 徳積

TKF25未来プロジェクト “25歳のあなた！キラキラと輝いている自分がそこにいます”
人には平等に与えられるものがあります。皆さん、何か分かりますか。それは「時間」です。
その長さは人それぞれですが、間違いなく「時間」はあります。
その時間をどのように使い、何を体験するかによって、あなた自身が形成され、あなたの「価値」に付加されていきます。だからこそ、人は生きている時間の中で様々な経験をし、自分の価値を証明していくのではないのでしょうか。
高校生活を通して、あなたが望むあなたらしい未来の姿を確かなものにする自分づくりに取り組んでいきましょう。この自分づくりの取り組みが本校の「TKF25未来プロジェクト」です。
「TKF25未来プロジェクト」は、あなたがこの世に命を授かった時、持って生まれたきたあなたの種育てる取り組みです。
たとえば、種は土の中から栄養をそして水や太陽の光を吸収し、その種らしい花を咲かせます。
今から10年後の25歳に向かって、自分がもともと持っている種を育てる。それは、自分が理想とする自分づくりの始まりでもあります。自分の種を育てるために・・・
本校の環境の中で様々なことにチャレンジし、自分を磨き、長所を伸ばしていきましょう。

	自 針	熱 中	徳 積
視 点	展 望	協 働	公徳心
心掛け	素 直	柔軟性	感 謝
行 動	挑 戦	継 続	挨 拶

「自 針」

「じしん」と聞くと何を連想しますか。地震、自信、自身・・・いくつかありますが、校訓にあるのは「自針」です。これは自分の中にある「磁針」のことで、心の中に持つ、将来への方向性と自分の在り方のことです。自分の心に描いた「自分の理想」とは何かについて、しっかり向き合ってみましょう。自分の気持ちに正直になることから「自分が本当に手に入れたいもの」が見えてきます。自分の心と素直に向き合って「自分がどのように成長していきたいか」を明確にしていきましょう。

展 望	自分の目標を明確化し、自己の方向性に展望を効かせるためには、社会の様々な事象の中から自分自身が歩む道を取捨選択し、そこにある事象を深く見つめ、自分はどうすべきか、何ができるかを考えることが大切です。思考・判断・実践を心掛けましょう。
素 直	自分の理想とは何か、自分が心に描いたことと向き合う時間を持ちましょう。また、一人では生きていくことはできない人間として、他者の意見を受け止め、謙虚さを持つように努めましょう。
挑 戦	一人ひとりの人間は姿や形が違いうように、人それぞれに必ずその人固有の良さ「個性」があります。固有の持ち味をよりよい方向へ伸ばし、より輝かせるためにも、自己や他者を承認した上で、様々なことに挑戦し、経験を積むことで自己の個性を磨きましょう。

「熱 中」

頭で考えるばかりでなく実際に行動すると、様々な気付き（発見）があります。この気付きが新しい自分をつくっていきます。自分には関係ないとか、興味が無いからと距離を置かず、無心になってやってみましょう。やってみると必ず気付くことがあります。一つは「おもしろさ」を感じれば、感じ方のツボを発見できます。そこで夢中になれるものが見つかります。もう一つは「自分が何をどのように感じたのか」を整理すると、「意味のないと思うものにある意味」が見えてきます。どのような小さな行為でも、自分で考え、自分の意志で決定したことは、行動に責任を持つようになり、自信や誇りに繋がります。見つめる為には、まずは夢中になって続けてやる力をつけていきましょう。

協 働	自己中心的な言動ではなく、他者の考えを理解し、協働して物事を成し遂げようとする気持ちを持つよう努めることが大切です。人の良いところにも目を向け、お互いが気持ちよく取り組める雰囲気作りを心掛けましょう。
柔軟性	物事に取り組む際、思うようにいかない時は思いきって「やり方を変えてみる」勇気も必要です。常に「何のために」を意識して物事に取り組みましょう。
継 続	「中途半端」や「諦める」ことは簡単です。ただ、失敗も成功も経験もしないのですから、そこに成長はありません。何事も、先ず続けるよう努めることが大切です。継続の先にある達成感、自分の可能性を伸ばし、人生を切り拓いていく原動力になります。くじけそうになっても時間が経っても根気強くやり抜いてみましょう。

「徳 積」

世の中には必ず報われることばかりではありません。では報われないことは、する価値がないのかと言えば、そんなことは決してないはずです。自分がしたことであつたり、喜んだりしてくれる存在があることを思うと、何かを「してもら」よりも「する」ほうが幸せということもあります。「徳」は「得」と同義ではありません。損得を考えず、人の役に立てることを喜びと感じられれば、心が豊かになるでしょう。人のために何かをすることで、あなた自身が幸せになるのです。物事を通して、自分の心の変化に気付くことが「チャンス」に繋がります。物事を広い視野で考えて、そして主体的に行動してみましょう。

公徳心	社会の中では他者を思いやる心が大切です。公德を大切にする思いを日常生活の言動で具体化していけば多くの人々が安心して生活できるようになるのです。自分の言葉を「どのように伝えようか」等を想像できる客観的な視点を持つように心掛けましょう。
感 謝	自分にとって当たり前のことも意識することで「感謝」の気持ちが生まれます。「感謝」は「幸せ」につながります。自分を支えてくれる「ひと・もの・こと」全てに感謝しようとする温かい心を持ちましょう。
挨 拶	挨拶とは、心を開くことです。相手に笑顔で心を開く元気な挨拶ができるということは自分を相手に知ってもらうことに繋がります。よりよい「空気」を作る為、お互いが「自分から挨拶」を心掛けましょう。

課程：通信制 学科：普通科 通信教育区域：福岡県・佐賀県 定員：360名

教育課程（令和7年度特進型標準履修の場合）

1年次		2年次		3年次		履修できる科目	
科目	単位	科目	単位	科目	単位		
現代の国語	2	論理国語	4	文学国語	4	数学	数学Ⅱ 4
言語文化	2	地理探求	3	古典探求	4		数学Ⅲ 3
地理総合	2	日本史探求	3	日本史探求	3		数学A 2
歴史総合	2	生物基礎	2	世界史探求	3		数学B 2
公共	2	体育Ⅰ	3	政治・経済	2		数学C 2
数学Ⅰ	3	保健Ⅱ	1	体育Ⅲ	2	理科	物理基礎 2
科学と人間生活	2	美術Ⅰ	2	保健Ⅲ	1		物理 4
体育Ⅱ	2	英語コミュニケーションⅡ	4	英語コミュニケーションⅢ	4		化学基礎 2
保健Ⅰ	1	総合的な探求の時間	2	家庭基礎	2		化学 4
英語コミュニケーションⅠ	3			総合的な探求の時間	1		生物 4
情報Ⅰ	2	情報Ⅱ	2			芸術	音楽Ⅰ・Ⅱ 2
生活と経済	1	生活と経済	1	生活と経済	2		美術Ⅱ 2
職業研究	1	職業研究	1				書道Ⅰ・Ⅱ 2
						外国語	論理・表現Ⅰ 2
							論理・表現Ⅱ 2
							論理・表現Ⅲ 2
合計	25	合計	28	合計	28	商業	ビジネス基礎 2
							情報処理 1

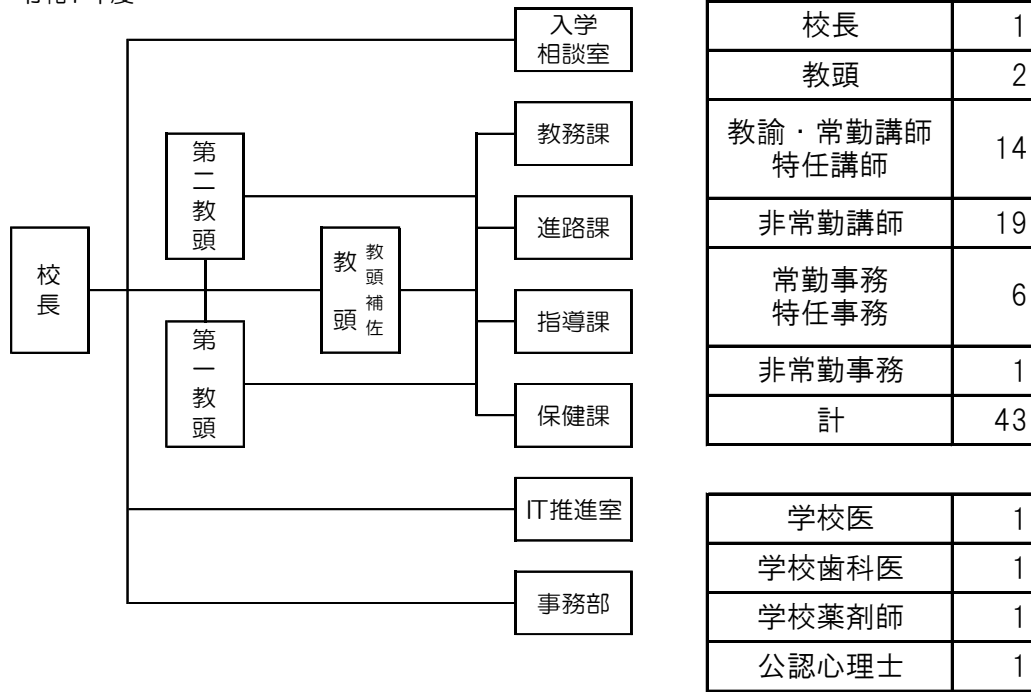
※希望する生徒は標準履修科目以外の科目履修（専攻履修）が可能となります

日課表

校時	時間	OA室利用等
SHR	9:00～9:05	職員の指示による利用は可
1校時	9:10～10:00	職員の指示による利用は可
2校時	10:10～11:00	○
3校時	11:10～12:00	○
昼休み	12:00～12:35	職員の指示による利用は可
清掃	12:35～12:45	×
4校時	12:50～13:40	○
SHR	14:00～14:05	○
5校時	14:10～15:00	○
6校時	15:10～16:00	○
7校時	16:10～17:00	○ 木曜日は不可
清掃	17:00～17:10	×
SHR	17:10～17:15	×

校務分掌組織図・教職員数等

令和7年度



本校では生徒たちが心身共に健やかに成長できるよう、高等学校通信教育規定にて定められている定数以上の職員を配置し、より充実した指導支援体制の構築に努めている。

また、学校医・公認心理士等と連携を図り、より専門的な知見を取り入れ、生徒たちが安全に安心して学べる教育環境の整備を推進している。

生徒状況（令和7年5月1日時点）

1 生徒数

第一学年相当	第二学年相当	第三学年相当
83 (0)	94 (14)	101 (10)

() : 令和6年度5/1-3/31転編入学生徒数及び令和6年度4/1-5/1付転編入生

合格実績

1 令和6年度合格実績 詳細はHP合格実績参照

国公立大学	私立大学	短期大学	専門学校	各種学校	就職
4 (0)	94 (6)	6 (1)	35 (0)	0 (0)	2 (0)

() : 既卒生

2. 合格実績5年間集計 詳細はHP合格実績参照

卒業年度	大学	短大	専門	各種	就職	合計
令和2年度	55 (17)	5 (0)	37 (2)	2 (0)	2 (0)	101 (19)
令和3年度	98 (24)	10 (0)	31 (0)	0 (0)	2 (0)	141 (24)
令和4年度	86 (28)	10 (1)	23 (1)	0 (0)	2 (1)	121 (31)
令和5年度	73 (12)	5 (0)	32 (0)	3 (0)	1 (0)	114 (12)
令和6年度	98 (6)	6 (1)	35 (1)	0 (0)	2 (0)	141 (8)
合計	410 (87)	36 (1)	158 (3)	5 (0)	9 (1)	618 (94)

() : 既卒生

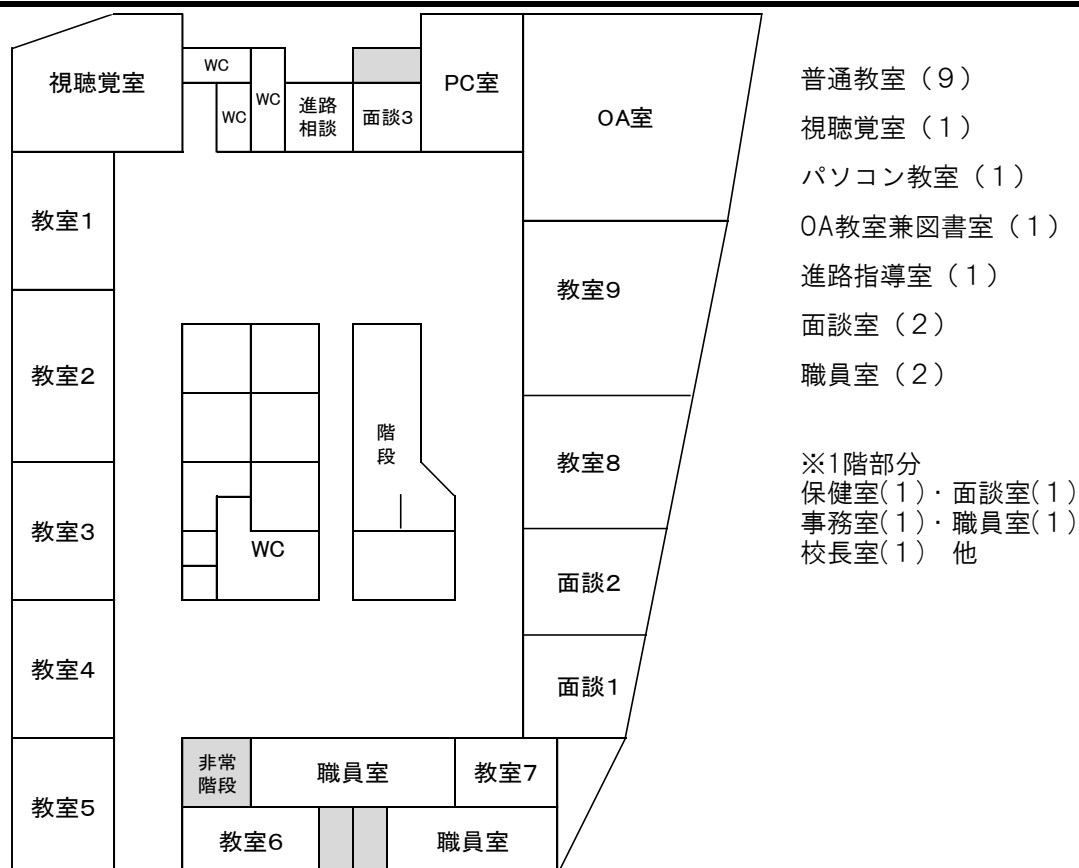
令和6年度資格検定試験合格実績

検定名	1 級	準1級	2級	準2級	3級	3級未満
実用英語技能検定		1	6	18	17	6
日本漢字能力検定			2	6	13	3
日本語検定					3	4
日本語ワープロ検定	1				4	
情報処理技能検定 表計算	7		20		16	
文書デザイン検定	17		27		42	
プレゼンテーション作成検定	16		5		5	
情報デザイン検定	4					
プログラミング技能検定	2					

令和7年度年間行事

月	主 な 行 事	月	主 な 行 事
4月	始業式 入学式、3年進路説明会、2、3年生懇談会	10月	—
5月	ふれあい合宿、1年生学級懇談会	11月	2年生進路説明会
6月	体育祭	12月	研修旅行
7月	前期面談期間、キャリアデザイン終業式	1月	—
8月	前期面談期間、24hTVチャリティ募金ボランティア	2月	同窓会入会式、キャリアデザイン修了式、後期面談期間
9月	特進終業式、特進・キャリアデザイン始業式、文化祭	3月	卒業式、特進修了式、後期面談期間

校舎平面図（2階部分のみ掲載）



校納金

入学金
¥50,000

[全型共通]

授業料	施設設備費	教育充実費
¥12,000 × 単位数 (新入生標準単位数：25単位)	¥90,000	¥210,000

[特別指導費]

特進型	キャリアデザイン型	ステップ型 個別スタイル	ステップ型 集団スタイル
¥300,000	¥180,000	¥144,000	—

- 諸経費預り金：ふれあい合宿費、模試費 等
- 教科書代金：無償（学校より配布ため、別途購入なし）
- 各種検定受験料：下記の検定3級までの初回受験時は学校負担で受験可
 - ・情報処理技能検定表計算
 - ・文書デザイン検定
 - ・日本語ワープロ検定
 - ・実用英語技能検定
 - ・日本語検定
 - ・日本漢字能力検定

令和6年度 学校自己評価

令和7年3月26日

目指す学校像	生徒一人ひとりに自己の可能性を発見させ、各々が光り輝き社会に貢献できる元氣な生徒を育てることを目指す。 そのためには、生徒一人ひとりが自律した個性豊かな生き方ができるように、各々に目標を明確化させ、その実現に向かって愛情と厳しさを持った指導体制を確立するとともに、教育の理想を追求していく学校を目指す。
--------	--

つくば開成福岡高等学校
(単位制による通信制の課程)

重点目標	1. 個に応じた指導をととして各々の目標の設定と学習意欲の向上を図るとともに自ら考え判断し行動する主体性を育成する。 2. 将来の展望を明確化させていく中で、進路実現に向けて常に向上心を持って自ら努力する姿勢を育成する。 3. 互いの人権を尊重し、他者と関わる上で必要なコミュニケーション能力や合意形成能力並びに協働できる力を育成する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学校自己評価							
年度目標					年度評価 (令和6年3月26日 現在)		
NO	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の検証指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	- 自信を取り戻し自己肯定感を高めるために、興味関心を持てることから主体的に学習に取り組ませる - 理想の自分づくりをするために、学習の意味や学習方法等を自ら考え計画的に学習に取り組ませる - 各種検定試験にチャレンジする生徒は増加傾向にあり、更に検定試験へチャレンジを推奨する	- 学習意欲の向上を各々の生徒の学習への取り組み方で評価する - 学習への継続性を目標設定と計画性や修正力で評価する - 学習意欲の向上を各々の生徒が検定に取り組む姿勢で評価する	- 学習意欲を向上させる多様な学び方を、少人数授業(面接指導)を通じて丁寧に指導する - 目標設定と計画性や修正力について指導を行い、生徒の自己評価力を向上させる - 検定料(3級以下)の学校負担による試し受験や上位級への挑戦を推奨し、1級合格者に同窓会から表彰する	- 多様な学び方の研修とその情報の共有化により、指導力強化を教科部会で検証する - 学校生活アンケートやHTでの面談にてレポートへの取り組みを生徒自身の自己評価で検証する - 検定受験者数及び合格者数経年推移を指標として検証を行う	- 非常勤も含む情報共有化により、教職員間の共通理解が学習意欲の向上に繋がった - レポート作成や期限までの提出、添削解説後の復習など、家庭学習に前向きになった - 各種検定合格者総数が200名を超え、検定料学校負担と同窓会表彰の効果があつた	B	- 新学習指導要領への令和6年度完全移行に伴うレポートの作成・評価方法の確立を目指す - 家庭学習の更なる定着を目指し、学習方法の支援(的確な提案)が適切にできるよう職員研修を進める - 検定試験も含め個としてのチャレンジに留まらず、集団として切磋琢磨した学びを進める
2	- 年々進路実績も向上しており、更に進路目標を明確化させ、進路学習にも主体的に取り組ませる。 - 進路を実現するための学力の向上を図る上で、自分らしい学習方法を選択させ学習の継続力を強化する - 不登校経験のある生徒が中心の為、入学前学習を導入し自学の学習習慣の育成を目指す	- 進路選択学習を通じて、自己理解を進め、進路目標の明確化で評価する - 進路実現に相応しい自分づくりを学習への取り組み方で評価する - 育成型入学生の入学前の検定指導を行い、学習意欲を評価する	- 各生徒に自らの可能性を発見できるように、未来を切り拓いた卒業生と接する場を進路選択学習に組み込む - 各生徒の進路実現に向けて進路説明会を生徒・保護者向けに開催し、二者・三者面談にてフォローアップする - 育成型入学生の入学前の検定指導への出席率と家庭学習の進捗を把握し励ましていく	- 輝け高校生活に貼付した進路選択学習の振り返りを担任との面談を通じて検証する - HTでの面接回数と内容について、情報の共有化を図り適切なフォローかを進路課で検証する - 自分づくりの意識が強化され、入学後の学習への取り組みの継続性を検証する	- 高校生活を振り返り、何が自分を変えたかの問いにHTへの感謝が大きいと回答した卒業生が多数 50%以上の生徒が2年次までに進路目標が定まり、自学に取り組めるようになった - 不登校改善率90%以上、卒業率98%以上達成し、検定上位級合格者も増えた	B	- 生徒自身が2年生の12月までに進路目標が設定できるように充実した情報提供を行う - 各々の生徒が進路目標を設定し、実現に向けた取り組みができるように適切に指導していく - 本校のアドミッションポリシー等が伝わる情報発信やつくばの杜内容更なる充実と改善を行う
3	- 自己肯定感の低さから自己の特性に対する認知が苦手な部分に偏らないように客観的視点を持たせることで、自己肯定感の向上を目指す - 挨拶の重要性を多面的に伝え、生徒会を中心に生徒の意識を高め、お互いに挨拶を交わせるようなコミュニケーション力を育成する - お互いの違いを理解した上で、お互いを尊重し合える関係性の構築し、協働できる集団づくりを目指す	- 他者を思いやる心の育成(目・耳・口・手足・心)自分の中にある5つの実践を評価する - 各々の生徒が実践できる挨拶を推進して、各人のコミュニケーション能力の向上を評価する - 各種行事内での活動を元に、集団的活動時の実践内容を評価する	- 互いの人権を尊重し、協調して活動できる心と行動力を育成するために、特別活動や特別授業(学校設定科目を含む)の内容を充実させる - 生徒会を中心に挨拶運動を実施し、生徒全般の意識を高めるとともに、互いを理解しあう良好な対人関係の構築に取り組む - ふれあい合宿、体育祭、文化祭等の行事内に教員主導のものだけでなく、生徒主導で活動を行う場面と活動前に生徒同士で協同の視点に立った、話し合いの場を設ける	- 特別活動や特別授業で人と関わり、互いの良い点を認め合うことで自己肯定感の向上に繋がっていることを前向き度で検証する - 日常の学校生活の中で、挨拶・掃除・自学・立志の精神が推進できるように、今年度は特に挨拶への取り組み状況を検証する - 行事実施後に生徒・職員へのアンケート調査を取り入れ、双方の観点からの状況を踏まえて検証する	- 学校生活アンケートでの前向き度が90%を超え、登校への意欲の向上と自己の成長を実感した生徒が増えた - 生徒会を中心に、生徒間の挨拶や掃除に対する意識が高まり、日常の学校生活にも活気が出てきた - 体育祭アンケートでは80%の生徒が取り組めたことに対して高評価を回答し、各実行委員会やブロックで協同する姿勢が向上している生徒が増えた	B	- 各々の生徒の成長に必要な課題とその課題を解決していく具体的な指導について、保護者と共有していくために工夫していく - 挨拶・掃除は成果は上がってきたが、個人差があるため各々生徒が取り組みやすい内容を段階的に設定が必要である - 日々の取り組みがより、行事等で活かされるよう、計画的に連動した取り組みとして、クラス内で係活動等を強化した内容を導入する。